

# 2024年度 県総体 用具点検について

1. 点検は、当該審判員 4 名と会場担当者 1 名で行うことを原則とする。
2. 不良用具については、試合での使用を認めず、当該試合中、本部席にて預かる。
3. 点検は、試合前のシートノック時に、先攻側のチームから、ダッグアウト前で行う。
4. 主な点検用具は、バット、ヘルメット、スパイク、捕手の装具、グラブとする。
5. 「バット」について
  - ① ひび、へこみ、亀裂はないか。
  - ② 木製バット以外のグリップ部分は、市販のグリップテープで留めてあるか。
  - ③ グリップテープやエンドテープのはがれはないか。  
※ エンドテープはなくてよいが、テープ類がはがれていないか確認する
  - ④ 金属バットについては、JSBB マークがついているか。 ※ JSBB がついていれば OK
  - ⑤ 樹脂を使用するバット（ミズノ：ビヨンドマックス、アシックス：テックエースなど）については、打球が変化する程の亀裂や削れはないか。（参考：長さ 8 mm 以上の亀裂は×）
  - ⑥ ノック用バットは、試合中はベンチ外へ出すように依頼する。
  - ⑦ バットリングやマスコットバットは持ち込めない。
6. 「ヘルメット」について
  - ① 両側にイヤーフラップがついているか。  
※ フェイスガードは、SG マークがついているものは使用可
  - ② 内側の保護パッドがついているか。また、固定されているか。
  - ③ ひびが入っていないか。
  - ④ チームとして、色やデザインが統一されているか。
7. 「スパイク」について
  - ① 皮革部に靴下などが見えるような破損はないか。
  - ② ひもが切れていないか。
  - ③ 金属部分のネジが固定されているか。
  - ④ 色は黒 or 白を基調とするものであるか。 ※2024 年度から、色が混在していてもよい
  - ⑤ P 革の釘が出ていないか。
8. 「捕手の装具」について
  - ① マスク、レガース、プロテクターは、JSBB 公認の物であるか。
  - ② マスクには、スロートガードが装着されているか。  
※ ただし、スロートガード一体型のマスクは装着不要。
  - ③ マスクにひびはないか。また、保護パッドがついているか。
  - ④ マスク、レガースに亀裂や破損はないか。  
※ 予備捕手の装具についても同様に点検を行う。
  - ⑤ ヘルメットは、帽子の色と同じであるか。（今後購入するときに気を付ける）
  - ⑥ ファウルカップは着用されているか。 ※ 用具点検時に着用すること
9. 「グラブ」について
  - 【投手】
    - ① グラブの色は、縁取り・縫い糸を除き白色・灰色以外のものであるか。
    - ② グラブの色は、PANTONE の色基準 14 番より薄い色のものになっていないか。
    - ③ 縁取り、しめひもを除く本体（捕球面・背面・網（ウェブ））の色は 1 色であるか。
  - 【捕手や野手】

綴じ紐は結んであるか。また、親指程度の長さであるか。（捕手や野手のグラブの色に制限はない）
10. 点検後の補修が可能であれば、補修後に再度点検を行い、良ければ使用を認める。
11. 審判部は不良用具について選手登録用紙の裏に記録し、翌日以降に引き継ぐようにする。
12. 試合終了後、審判部は不良用具を当該チームに返却する。